



特集

ひとこと

○5年1月3日に男の孫が生まれたので毎日振り回わされていきます。先生方によりしくお伝え下さい。

1期 中村光子

○忙しいドラッグストアに転職して2年になります。漢方薬の勉強をここ数年続けております。学校薬剤師の方は、小学校と中学校一校ずつ細々と続けております。

1期 高橋豊子

○近くの調剤薬局で働いています。1期 春原千鶴子

○景気低迷の中、小売流通業となれば前年比を割らぬよう頑張っています。店長として数字との戦いにあけてきています。ストレスで胃の薬の常用者と相成り果てました。1期 秦野徳久

○年老いて県薬剤師会の代議員、市薬剤師会の理事などをやらされています。永年「薬売師」をやっていたので、分業促進・分業と厚生省の保険医療の危機を

突然はやしたてられても、「薬剤師」はとまどうばかりで、調剤の勉強はしんどいです。苦勞と多忙の割には体重は増えるだけです。結婚以来28年、出産以外に病床に伏したことがありません（掘り出し物でしょうか？）が、寄る年波で今冬は風邪を引いています。熱も出ないので、薬に囲まれて休むことなく頑張っています。1期 秦野美弥子

多忙にしています。医療の世界からは遠くなってしまいましたが、皆様によりしくお伝え下さい。

1期 窪田幸夫

○病院の薬局で忙しくしております。1期 松原朱実

○調剤薬局勤務で頑張っています。1期 五十嵐靖子

○しばらく前から薬学の道からは離れています。残念です。長男高2、長女中2。実父入院中でバタバタしています。皆様のご発展をお祈りします。幹事の皆様お世話様です。

1期 鈴木（桂）球喜

○元気だけがとりえで生きております。尼崎の学校薬剤師とキレイでタノシイモノの販売のお手伝いをするくらいで、時間のゆとりがあるのが何より幸せと思っております。1期 鈴木道子

○すっかり学問の世界から遠ざかってしまいました。今は老人介護の日々で、残念ながら欠席させていただきます。1期 月花世志子

○元気に仕事、家事、余暇の野菜作りにと、忙しくしております。

1期 蒔田（中山）搖子

○調剤薬局に週3日勤務しています。

1期 森（東城）圭子

○開局しておりますので、7月はサマーセール準備でテナコマイゆえ、このところ失礼しております。会員がドンドン増えることを願っています。

1期 阿部（柴田）秀子

○平成4年4月26日死亡。1期 小田（田村）知津子

○昨年は辰野先生、鈴木先生にお目にかかる機会がありました。とても懐しく、学生時代に戻った気持ちでした。2期 新井和子

○薬局で管理薬剤師をしております。月に1回ですが漢方を勉強しています。

2期 秋山弘子

○子供が2人も東京近郊の大学へ出てしまい、年寄り3人で暮らしています。暇になったと思ったら、身近に病人が2人。少々忙しい毎日を送っています。

2期 秋山（茂木）義子

○相変わらず元気に毎日、薬や化粧品販売に頑張っております。

2期 石澤（山下）睦子

○卒業後はじめての出席です。不安と楽しみが同居しております。

2期 大戸宣子

○今年、開局20周年を迎えました。業界の仲間との集まりでは、そろそろ古株の部類に入り、実力もないのに役職を引き受けるようになりまして。週休2日制の皆様を横目で見ながら、毎日忙しく働いております。

2期 川手（遠藤）鮎子

○毎日忙しく働いております。あと5、6年もしたら余裕が出てくると思います。同窓会に出席できるのを楽しみにしています。

2期 小山（井上）隆子

○佐武さんお変わりないですか。相変わらずバリバリ活動していらっしゃるでしょうね。大阪はよく知らないのですが、行ってみたいのですが、中小企業は人材不足で仲々出られません。生田さんも理科大に行かれてからは来仙しなくなりました。いつか仙台にもおいで下さい。

2期 佐々木理子

○仕事を止めて主婦をしています。今は老眼などの老化現象になやんでいます。

2期 関根（西野）展子

○自分自身が花粉症なのですが、耳鼻科、眼科で花粉症の薬を患者さんに渡しております。おかしいですよ。

2期 樹林靖子

○開局、管理薬剤師として、

2期 樹林靖子

色々な方達と毎日出逢い、楽しく仕事をしております。

2期 児玉(武井) 禮子
○小さいながらも楽しい我が家で、開店して早や25年たちました。昨年新装して頑張っております。

2期 齊藤トヨ子
○お陰様で元気に過ぎております。仕事のやり方も何となく要領が判ってきて、主人の三回忌も終わり、ほっとしている今日この頃です。

良い話として中学2年の娘が今度、青少年海外派遣員に選ばれ、何となく気ぜわしい毎日を過ごしているという事です。今のところ一日一日が駆け足で終わってしまいます。

2期 福岡(立澤) 芳子
○田舎でささやかな薬局を開いています。花にかこまれて、のんびりと、そしてつつましく……。

2期 松本(峯尾) 郁代
○インドネシアから帰国して2年もたつてしまいました。今年は理窓会の幹事にもなり、子供にも手がかからなくなつたので、何かお手伝いが出来るかもしれません。皆さんによるしく。

2期 長岡(小泉) 洋子
○日立では数少ない調剤薬

局に勤務して一年が過ぎました。服薬指導に力を入れて薬についての理解を深めてもらえるように心がけております。2期 吉成雅子

○月一回長沢先生の漢方講座を受けています。必要に迫られて受講していますが、老化した脳はなかなか反応してくれません。でも最後まで頑張るつもりです。

3期 生井(山内) 茅子
○知覚障害の子ども達と一緒に勉強しています。

3期 井上七郎
○昨年12月より、研究開発センターから情報管理本部の薬事部に移りました。届出に県庁へ、薬事申請に厚生省へ毎週出掛けております。秦野市民4年を経過し、丹沢の麓での生活にも馴れてきました。

3期 梅木建昭
○元気で妻、母、嫁業に頑張っています。子供からは手が離れていますが、両方の親が高齢で病院通いが私の役目です。佐武さんにはお会いしなかったのですが、出席できず残念です。

3期 青木靖子
○慶應大学病院の検査部で免疫関係の仕事が続けております。この分野の急速な

進歩について行くのが大変ですが、頑張っております。

3期 大竹皓子
○週4日、調剤薬局でパートで元気にやっています。

3期 小野田博子
○長い間専業主婦の道にどっぷり漬かっており、脳の機能がどんどん低下しているようです。特別将来設計もしておりませんが、のんびりとした日を過ごしております。

3期 奥貴亨子
○区薬剤師会研修会に出席して「医薬品の相互作用・副作用」堀美智子先生の講義を聞きまして、最新の薬理学を勉強し直そうと思っております。

3期 金 康子
○国立がんセンター東病院でボランティアをはじめました。がん患者とお話しをして、不安とか淋しさを少しでも取り除くことができればと思っております。フルタイムで仕事を持っておりますので、月に2、3回、時間を作るのに苦労しています。患者さんが待っていますくれます。

3期 柴田紀子
○長いこと職業から遠ざかって、薬学会参加も昔の思い出になつてしまいました。

また少しづつ社会復帰したいと思いつつ長い年月を経た重みが増々腰を重くしています。幹事の長尾善光様、奥様によるしくお伝え下さい。

3期 菅家裕子
○昨年7月、理大生物部のOB・OGで合宿地の栗駒山を再訪し、とても楽しい2日間を過ごすことができました。

3期 滝 道子
○3月28日は長女(虎の門病院薬剤部勤務)の結婚式で忙しいのですが、やはり学会には参加することにしました。皆様にお会いできるのが楽しみです。

3期 富田紀子
○昨年4月から病院勤務となり、卒業以来初めて調剤をやっております。

3期 福島正明
○パートで病院の薬局に勤めております。

4期 渡辺(野間) 由紀子
○中国の北京中医学院の日本分校で中国漢方を毎週土日曜日に十時間勉強しています。3年で卒業できたら漢方専門医になれます。皆さんも本場中国漢方を学んでみませんか。

4期 植松(小林) 光子
○薬学部同窓会は段々と充実しているように感じられ

ます。学内卒業生と先輩方を柱に、教授の先生方のお力と共に頑張ってください。

4期 小原康治
○病院勤務と母の世話とで忙しい毎日を過ごしております。

4期 久田順子
○卒後、薬剤師として勤務していましたが、身体を悪くし、勤めから永い間離れております。目下療養中です。薬を服用することに

よってかなり良い状態になつております。毎日、音楽とバイブルに親しんでおります。

4期 小森雅子
○くすりやおばさんに定着しました。国立千葉病院、千葉大学病院の院外処方せんとめぐって、いろいろと話し合いがもたれている今日この頃です。

4期 久保田弘子
○現在、近所の薬局に勤務。中医学を勉強しています。

4期 佐藤光子
○入院の長かった実父が亡くなりました。父の法要で丁度、実家(長野県諏訪)に帰りますので欠席です。10月の薬学講座はぜひ出席したいと思っています。勤務が老人病院なので興味があります。

○浜松で単身赴任を続けています。4期 中田一矢

○子供二人も大学生となり、地方から仕送りする身で、毎日調剤薬局の仕事にがんばっております。

4期 鶴見須美
○市内の病院に勤務し、頑張っています。400点業務の認可を受けようと、現在準備中です。

4期 多田富美子
○調剤薬局経営。薬剤師4名(男2・女2)。うちワイフが1、医療事務員2名(女2)。一日平均処方せん受付数約70枚。1月レセプト件数約一、〇〇〇件。年商一億六千万円。支店を出したいので、薬剤師をお世話頂ければ幸いです。アカデミックにやっております。

3期の長尾君とは一時期同期で、今も仲良しです。

4期 生井文雄
○近くの調剤薬局でパート勤務をしております。

4期 西村信乃
○開局して24周年……。区切り良く、あと一年くらいと思う昨今です。渡部様、同窓会誌上でご活躍を知りなつかしくお写真共々拝見します。ご活躍とご健勝をお祈りします。

4期 橋本泰子

○いつの間にか関西人として26年。そろそろ変化を求めています、腰が重く、動きそうにありません。

4期 堀田尚志

○創業業務を担当していません。情報の洪水の中で必要なものを取捨選択するのが大変な毎日です。

4期 吉本吉彦

○薬局を経営しています。医薬分業で処方箋受付けていますが、まだまだ問題があります。院外発行数が少ないこと。在庫医薬品の処理などです。薬剤師の知識をフル活用してがんばっています。

4期 和田和子

○調剤薬局に勤務していますが、医学に関するものの勉強も医薬分業になると必要であると痛感いたします。薬学士ばかりではなく、薬剤師の質の向上にも大学は力を注いでほしい。

5期 大滝規子

○パート薬剤師として週3日勤務しております。

5期 岡本(吉田)知子

○佼成病院に勤続25年になりました。92年5月号の月刊薬事に、昨年TOPに行つて病院見学した記事が載りました。文化放送の「家庭

の医学」で「薬の副作用について」話しをしました。

5期 加藤優子

○一年前、二人の子供の大学進学を期に、働きに出ましたが、体調を悪くし、家におります。元気に活躍の皆様がうらやましく思われる毎日です。宇部市に17年暮らし、千葉に来て早や6年目になります。なつかしい皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

5期 二宮(高嶋)玲子

○お店番に明け暮れの毎日です。少しずつですが地元の学校薬剤師としてお手伝いさせていただいております。

5期 松本(金子)房枝

○会えるのを楽しみにしています。5期 山岸 喬 ○私は相変わらず毎日良心の介護中心の生活ですが、昨年からは暇を作って泉女子薬主催の研修会と、漢方研究会に出席させて頂くようになりました。10年余のブランクの大きさを痛感しておりますが、少しずつでもサビがとれたらと思つて出席しております。

5期 上原(平瀬)逸子

○白根商事に勤務しています。同期の友人3名も各営業所に勤務しています。

5期 内野浩子

○娘二人とも大学生となり家を出たため、やっと自分の時間が持てるようになりました。今、博多の町は山笠の準備で賑わっております。九州にお越しの折は是非ご一報下さい。

6期 川口(鉢嶺)邦子

○子供も大きくなり、病院に勤めています。昨年は何十年振りで大学へ行き、宇留野さん、赤岩さん、佐久間さん達にお会いしました。今回は主人が薬学会へ行きますので、私は観光をかねて同行出席させて頂きます。

6期 河野敏子

○サンド薬品横浜支店におります。6期 栗山豊光 ○薬局に勤めております。処方箋は少なく、ドリンク、雑貨などが多いのですが、最近では大人の紙おむつ、介護・看護用品などが多くなり、高齢化社会となつていくことを知らされます。

6期 小林(柴)美知子

○診療所の薬局での調剤業務のかたわら、東洋医学、民間療法、健康食品等に興味を持ち、お年寄りを相手にビワの葉温灸など、素人でもできる健康法をためし

てみたりしています。

6期 川田幸子

○卒業してから二十数年たち、子供が大学に入っている年になりました。この頃になって大学時代が懐かしくここ数年は薬学卒業講座に顔を出して旧友と顔を合わせるのが楽しみになっております。現在は病院で超音波検査の仕事をしてます。

6期 土屋敏子

○4年前に20年振りのクラス会に出席した時の楽しさ、懐かしさがいまだに忘れられません。またいつか再会できますのを楽しみにしております。今月は息子の受験、卒業、就職、母の法事と、落ちつかない毎日を過ごしております。

6期 藤縄朋子

○娘二人とも受験を目指す年頃です。親としては是非とも母校にと思うのですが、ままなりません。

6期 原田きみえ

○ドラッグに勤めています。まだ未熟ですが、お客様に喜んで頂いた時、この職業で良かったなと思う時もあります。6期 杉本真理子 ○東京台東区の私学共済下谷病院薬剤科に勤務して早く18年目を迎えています。

6期 渡辺久子

○卒業以来勤務している慶應大学病院で毎日忙しく過ごしております。

7期 石橋みどり

○中外製薬にてノイトロジンの臨床開発にたずさわっております。

7期 内田泰弘

○子供が生まれたのが遅かったので今だに小学生の母をしております。子供が中学にでも入ったら、改めて働きに出ようかと考えた時、自分の年齢を思い知らされがっかりしています。

7期 大西公子

○4月より高2、中3、小6になる子供達はそれぞれスケジュールで東へ西へとび回っております。子育ては財力が必要な第二段階を迎えております。夫と一緒にの仕事(小児・予防歯科)は果てしなく忙しいし、体力はおとろえています。しかし充実感も得られます。ガンバリます。

7期 鏡 政江

○卒業後20数年経て、専業主婦から一転し、管理薬剤師となり、一年経ちました。この道一筋のベテランという顔をして楽しくやっています。7期 児島博子

○幹事の渡部さん、薬研の会長をされていた頃のお姿が浮かびます。新人の田辺製薬のMRは長尾善光さんの教え子です。世の中広いようで案外狭いものです。

7期 小山恵美子

○ヘキストジャパンに勤務しています。学生時代、薬学研究部合成班に所属していましたが、卒業後どなたともお会いしていません。お目にかかれたらうれしいと思いつつ、なかなか大阪まで出かけられません。

7期 鈴木恵子

○うさぎ薬局に嫁ぎ、昨年改築して新規に昨年の暮れより始めております。朝8時半から夜9時まで、ずっと店番をやっている次第です。処方調剤(煎剤も保険でやっております)が徐々にでも軌道にのればと頑張っております。

7期 中野晶子

○週2〜3回調剤専門の薬局で働いています。

7期 根本(渡部)美枝子

○漢方に興味をもってから数年たち、少しずつ勉強しています。漢方薬局に勤めています。今、漢方薬局に勤めています。7期 松野正子 ○主人共々薬局を3店舗経営

営しております。地域医療の大切さを痛感している昨今です。 7期 丸山京子 ○小さな小さな薬局を始め3年になります。

7期 三浦紀久子

○結婚により住所及び苗字変更。卒業以来、長野県衛生公害研究所に勤務。

8期 赤岡(山崎)輝

○カエルの子はカエルでしょうか、この4月より娘が別の大学ですが薬学部に進学します。

8期 朝比奈ふさ子

○しばらく続けておりました薬剤師をやめ、全く畑違いの仕事をしております。

8期 池浦陽子

○病院薬剤師として湖北の片田舎で老人相手に孤軍奮闘しています。薬学会は他の者が行きますので残念ですが仕事をしております。

8期 笹井けい子

○仕事と受験期の娘と息子を持ち、毎日が目まぐるしく過ぎて行きます。ゆっくり家事や仕事のできる時期を迎えたいです。

8期 佐藤由美子

○昨年10月より工場の医薬品製造管理者となり、多忙となりました。

8期 芹沢信明

○日4年4月に宇都宮(藤沢薬品)に転勤し、新幹線通勤しております。

8期 高橋辰実

○大分保健所勤務で、食品薬事関係をやっております。

8期 堤 信男

○近くの薬局にパートで勤めて2年になりました。日頃の勉強の必要性を痛感しています。

8期 藤代かづ子

○福島市女子薬剤師会主催の未就業薬剤師研修を受けました。医薬分業に関して様々な問題が吹き出している実態を知りました。私自身は家庭の事情から職に就けず、中途半端な心境であります。

8期 矢崎陽子

○現在、日本レダリーで薬価及び調査関係の仕事をしております。

9期 岩本富幸

○現在、予備校講師をしております。大学受験生と大検生に教えています。子供は小・中・高と3人が3か所に行っております。

9期 亀井慶子

○週3回の病院薬局調剤と小学校の学校薬剤師をしています。 9期 木村陽子 ○理大生命研にもどり、活

性酸素関連疾患と内因性抗酸化剤に関する研究が始まった。から早や3年がたちました。上京の際は是非お立ち寄り下さい。

9期 小島周二

○近所で管理薬剤師として働いています。

9期 小島ちづ子

○中学生2人の母です。すっかりただの主婦になってしまいました。

9期 笹川理恵子

○日本セル白河研究所にて医療用医薬品の申請(特に規格設定及び安定性)を担当しています。

9期 城塚美喜雄

○昨年長女が理大薬学部に入学しました。しばらくぶりで大学へ行き、なつかしい先生方のお顔を拝見しました。子供の学生生活を見るにつけ、昔がよみがえってくる思いです。私は現在主人の会社の手伝いで経理、労災関係の仕事をしてい

9期 清水澄子

○幼稚園の子供がいますので、まだ家庭で忙しい日々を送っています。主婦專業の毎日です。

9期 菅原(平墳)公子

○7歳、4歳の子供2人をみながら薬局を経営して

ます。子供がもう少し大きくなれば……。

9期 高木庸子

○佐武さんに筑波でがんばっていますとお伝え下さい。

9期 武尾勝司

また会長に5月水戸での再会を楽しみにしております。石井君が股関節脱臼で2月21日に入院(一か月くらい)の予定)2か月くらいハビリが必要となっておりますとお伝え下さい。

9期 土屋(桑山)律子

○病院薬剤師(パート)をしています。

9期 山梨環境局廃棄物対策課に勤務しております。山梨県では「日本の環境首都」を目指して各種の施策を進めています。

9期 廣瀬康男

○摂南大学(大阪)衛生分析化学研にいます。

9期 藤森廣幸

○大島橋本舗勤務。高3・中3・中1の一男一女。それぞれむずかしい年頃です。

9期 星野満生

○金沢に来て4年目になります。女子薬剤師会に入会して、月に一度勉強会に参加しておりますが、すっかり家庭の主婦になりきっております。

9期 真嶋(野田)美抄

○日頃は調剤薬局の勤務に追われております。医療法改正により、薬剤師の業務も更に広範囲になり、責任を問われる立場を感じております。薬剤師会雑誌2月号の石倉先生のお話しを興味深く読ませて頂きました。

9期 吉池京子

○田名病院(老人病院)にて調剤のパートで働いております。 9期 和田祥江 ○昨年12月、外研の先生の還暦祝いで上京し、理科大の皆様にもお会いできて、なつかしいひとときでした。会営の調剤薬局で働いております。 10期 石本悦子 ○都臨床研において「腫瘍血管新生とその抑制」について研究しております。

10期 及川 勉

○現在は薬学とあまり関係ありませんが、旅館業をやっております。理科大の現役の方々や、OBの方も時折りおいでになります。

10期 片岡利一

○一年半程前より放射の先輩の西村さんと同じ職場で働きはじめました。先輩ともども楽しく仕事をして

10期 阪本(開発)恵美子

○家の近くの手賀沼でバードウォッチングをのんびりしています。今、一番水鳥の羽のきれいな時です。そんな美しい鳥に矢を射る人がいるなんて……とふんが

いているこの頃です。

10期 首藤久子

○学生時代より憧れであった札幌の地で暮らし始めてそろそろ一年になろうとしています。今冬は毎週末スキー三昧という学生時代以来の夢のような幸福な日々を送っております。

10期 中島貴子

○済生会平塚病院勤務。副院長、整形外科医長を兼務しています。妻は家事のみです。

10期 中瀬古二郎・幸子

○伝統医学の教育・臨床・研究・啓蒙等に追われている日々を過ごしています。

11期 石原克己

○タイムスリップしたような世界の神田の現金卸問屋に勤めて、不況の嵐の中におります。今は、大学時代がともなつかしく思える年になりました。来年くらいには家業の薬局を手伝おうかと考えてはおります。

11期 漆原栄子

目下修行中です。

11期 漆原栄子

目下修行中です。

○6月より近くの調剤薬局で卒業以来初めて薬剤師の資格を使って仕事を始めました。

11期 岡宮(田中) 智子
○近くの調剤薬局で調剤を始めて5年目に入りました。日々学びつつ、薬剤師の仕事の大変さ、大切さを感じています。11期 小松幾子

○昨年4月に母を癌で亡くしました。短かった入院生活を通じて、まだ医は仁術であること、医療に携わる人々が如何に患者や家族から頼りにされる存在かを教えられた気がします。

11期 小暮 渉
○資生堂化工にて品質管理の業務をしております。

11期 齊藤広正
○仕事と子育ての忙しい月日が飛ぶように過ぎて行きます。11期 佐藤かな子

○3月より調剤薬局を開局するため準備に忙しい毎日です。11期 座古 登

○佐竹安紀子さん、卒業以来お目にかかっていませんがいかがお過ごしですか。昨年11月より1年間の予定で国立衛試病理部にて研究しております。植物採集に行ったことがとても良い思い出になっております。

11期 下 武男
○熱帯から湯河原への国道沿いの赤い橋のたもとで薬局をやっております。近くの熱海国立病院が分業になりそうなのですが、具体的には話が進まず、在庫の確保、調剤室の整備等、考え中です。11期 鈴木幸江

○現在は調剤薬局を経営しております。2店は漢方薬局を建設中です。

11期 高橋澄江
○現在は病院薬剤師として微力ながら働いております。

11期 只野芳子
○子供(中1・小4)の成長は早いものです。私はいと、在宅で編集関係の仕事や翻訳などを、興味(テニスやおしゃべり)の合い間にやっております。

11期 田中節子
○能登半島沖地震で全国的にメジャーになった珠洲保健所に単身赴任中。部下に21期生がいます。石川県職員には80余名の薬剤師がいますが、理大卒は3名です。11期 西村久博

○主婦業にとっぷり漬かっています。4歳・11歳までの4人の子育て真っ最中です。11期 野口あや子

○子供を手を離れてきて、私も一社会人として再び何か仕事につきたいと考えております。11期 渡辺良子

○元気でやっております。

12期 石田盛人
○14年振りに名古屋市薬剤師会東部調剤センターで調剤をしています。

12期 犬飼陽子
○日本イーライリリー研究開発部勤務。20年近く慣れ親しんできた分析研究業務を昨年離れ、臨床試験の摩訶不思議な世界にとどまっています。

12期 加藤俊博
○エセス製薬中研化学研究部で新規物質の合成を行っています。12期 甲本照夫

○徳島大学医学部を卒業して医師となり、昨年より葛飾区亀有で近藤クリニック(神経科・精神科・内科)を開業しています。お陰様で順調です。

12期 近藤忠雄
○子育てが一段落するとともに親たちが心配になってきて、なかなか自分の時間がとれません。このところセルフカウンセリングの必要を感じています。

12期 斎藤桂子
○今年、弁護士資格取得。

12期 島村直己

○近所の薬局へパートに行っています。調剤や薬理の勉強の必要性をつくづく感じるこの頃です。

12期 高橋裕久子
○田舎にも医薬分業の流れがやってきました、薬剤師会の中での世話役で歩き回っているこの頃です。

12期 茶山彰雄
○東京都薬務部には桑原さん以下、十数名の理大薬学部卒がいます。

12期 飛田誠一
○現在日本画を修業中。畑違いのようですがライフワークとなりそうです。

12期 中野(高橋) 志づ佳
○朝8時30分から処方箋を出す内科、夜9時までの診療所の処方箋を受け付けています。もうすぐ皮膚科も受け付けなければならず、超多忙な毎日。平日、しかも月末、一度休んでみたいですね。

12期 西川淳子
○現在、武田薬品の特約店担当セールスとして東北中を飛び回っております。

12期 根元恒雄
○主人の転勤で大阪に住みはじめて3年たちます。かねてから興味があった漢方を勉強しながら、吹田の漢

方専門「まなべ妙薬堂」でパートとして働いております。12期 宮川寿美

○週に2回の薬局勤務と中学・小学・幼稚園の三人娘の母親業とで、結構忙しい毎日を送っております。

12期 吉塚敬子
○下の子供が小学校に入學し、ホッとしたところですが、学校の役員その他で相変わらず忙しくしております。

13期 池田(千村) 公子
○東大病院第二内科、腎・高血圧班の研究助手をしております。

13期 小川(横森) 早苗
○90年10月米国より帰国、所沢在住。2児(7歳女、5歳女)が、かわりばんこにインフルエンザを持ち帰って来て困っています。

13期 太田(杉山) 史子
○本業、主婦業、アルバイトと毎日が慌しく過ぎて行きます。我ながらたくましいものだと思います。

13期 橋内幸代
○病院勤務17年を過ぎ、年増加してくる患者に押しつぶされそうな毎日です。

13期 中村敏枝
○小学生2人の母親として主人の親2人の介護と、毎日忙しい生活をしています。

13期 望月明美
○スーパードラッグ目指して奮戦しております。

13期 宮川宏明
○東北大学薬学部薬品分析化学教室で助手をしております。

13期 宮入伸一
○藤森先生、今度の同窓会世話人としてご苦労が多いことと存じます。機会があったら一度お会いしたいですね。

13期 山本正雅
○第一製薬研究所で新薬創製の探索研究を行っております。

14期 横浜秀一
○キッセイ薬品で薬理研究を行っております。

14期 浜野修一郎
○鍼灸分野の仕事をしております。14期 友田しほみ

○薬剤師というのが恥しいほどに薬と縁のない生活をしております。

14期 村瀬百合子
○昨年の11月より薬店でパートながら働き出しました。知識が足りず四苦八苦の月日を送っています。近くで講演などをやって下さると助かります。

14期 谷口晶子
○卒業して早16年。昨年より、結婚後初めて調剤薬局に勤め出しました。マイペー

に勤め出しました。マイペー

スでがんばっています。

14期 岡本仁美

○子育てに追われる毎日ですが、再び薬関係の仕事に復帰したいと考えております。

14期 中村(川辺) 優子

○東大和市中化粧品とくすりやを家族でやっております。

14期 山岸(関口) 幸夫

○開業して2年半。ボチボチやっています。

15期 新井泰守

○現在は学術となり、営業と違い、ゆったりと時間を過ごしております。

15期 神田正則

○前の会社を退職し、現在求職運動中です。

15期 菊池京子

○相変わらず近所の病院でパートの薬剤師をしています。

15期 島村佳子

○薬局をやめ、パート社員で調剤をやっています。

15期 成田規恵

○マイルス三共勤務。製造管理者としてGMPについて勉強開始中。

15期 二宮克美

○2人の息子たち(小3・小1)にも手がからなくなりましたが、しばらくPTA活動に追われそうです。

15期 早房直子

○JICSTの抄録員として細々と社会とつながっているつもりです。子育ても手がからなくなってきたので、外に出ようかと考えることもありすが、プランクが大きすぎて勇気が出ません。プライベートでは91年11月より南極昭和基地で越冬生活を送っていた夫がこの春一年4か月ぶりに帰国します。大いにワクワクしています。

15期 本吉恭子

○薬剤師としての仕事はほとんどしておりませんが、主人のクリニックを時々手伝っております。

15期 山本 睦

○第一製薬大阪支店に配属になり、もう13年となりました。久しぶりにいろいろな方々とお会いできそうなので今から楽しみです。

16期 阪本晃弘

○現在は主婦業に専念しております。16期 江口敦子

○子供が小2・幼稚園2人と、子育ての毎日です。最近、RI主任者の仕事を始め、社会復帰が叶いました。

16期 中井川みつ江

○3人の子持ちはとても忙しくて大変です。家の中を

かけずり回っているのに、なぜ太ってしまったのでしょうか。

16期 森戸容子

○肉体的な老いを少しだけ感じながらも毎日研究に励んでいます。現在、無麻酔下のラットで循環中枢を薬学的につづいていきます。薬学で身についたバックグラウンドが大いに役立っています。

16期 竹本裕美

○福岡に来て3年が過ぎ、こちらでの生活をエンジョイしています。子育てに忙しい毎日です。

16期 高橋 睦

○調剤薬局を開局して一年半になりますが、地方は薬剤師が不足しており困っています。

16期 山本雅巳

○大塚製薬で特許の仕事をしています。

16期 依田 司

○東邦薬品福島営業所の管理薬剤師をして一年が過ぎました。DI活動を中心に毎日楽しく仕事をして

17期 大森(片寄) 洋子

○昨春は3か月間会社を休みましたが、今春は何とか無事過ごせそうです。健康第一ですね。

17期 黒部美奈

○埼玉県職員です。現場で

医薬分業にガンバッテます。

17期 小島宏之

○子供は男の子2人(幼稚園)で、週一日だけ薬剤師の仕事をしています。

17期 古謝(加藤) 純子

○4歳、11か月の男児2人の育児に追われる毎日です。

17期 小松篤子

○JICSTの抄録員として細々と社会参加しております。

17期 阪本和子

○毎日アロエ栽培に精を出しております。

17期 佐々木 律男

○ゼリア新薬の中央研究所に勤務。

17期 篠崎 豊

○秋田県に嫁いで早や8年余。長女(小1)・長男(3か月)の育児のみに毎日明け暮れております。大曲市にて薬局を5店舗経営しておりますので薬とは縁が切れませんが、私は全く従事していない現在です。

17期 下山悦子

○育児休業中です。

17期 高橋一恵

○3月31日をもって東北大学薬学部を辞し、4月1日より東亜合成化学つくば研究所に勤務することになりました。

17期 高橋 昭

○2人の男の子(小1・幼稚園)に忙しい日々を送っています。17期 弘中恵美子

17期 谷口淳二

○現在、御殿場の持田製薬富士中研で薬理関連の仕事をしていきます。薬化学の星野先生、原先生によるしくお伝え下さい。

17期 山崎眞利

○病院薬剤師を始めて一年半たちました。何とか元気にやっています。

18期 荒木(中川) 靖子

○茨城県衛生研究所勤務。

18期 大曾根(遠藤) 圭子

○何期だかわかりませんが、先月亡くなった広島大学の玉井君とか、東大分院薬剤部の黒川君とかが同期です。エスエス製薬を退社して、現在ドラッグストアを経営しております。理大卒の方でこの業界の方は少ないので、いらっしやいましたらご一報頂ければ幸いです。

18期 大山邦之・久美子

○主婦業に徹して5年。女性の就職に関する特集を読み、大変参考になりました。私も再就職に急がずあわてず、じっくり取り組もうと思いました。現在、某製薬会社の漢方講座に出席しています。長沢元夫先生の講

18期 黒田(西田) 元女

○田舎に引きこもり、子育てのみの毎日です。

18期 高野(関口) 美佐子

○子供3人と主人と家族5人で毎日ギョアギョア明るく楽しくやっています。去年あたりから私もボチボチパートに出始めました。もっと自分に合った仕事ないかなって、欲ばりなことを考えながら過ごしています。たまには薬学講座に行ってみたいのですが、生活苦で……。卒業生には少し割引きして頂ければいいのですが。

18期 貞升(田中) 典子

○東京大学応用微生物研究所助手。平成5年から東京大学分子細胞生物学研究所に改組(名称変更)される

18期 白井隆一

○4児の母として家庭婦人として楽しく暮らしております。久保寺先生にお会いできなくて残念です。

18期 橋田由美子

○全農に勤務し、大阪に転勤。3年経過しました。

19期 青木武美

○只今、税理士の資格を取

るべく勉強中(もちろん薬剤師としても働いています)。あともう少しで取れそうなので頑張りたいと思います。

○小さい子供2人(2歳と1歳)を抱えて子育ての最中で、現在専業主婦。

○昨年11月に男児出産。子育てと、今月より在宅で仕事を少しずつ始めています。

○4年前に子供が生れるのを機に病院薬剤部を退職しました。以来学問とは程遠い環境にあります。2人の子供の手がからなくなる頃にはこちらの頭が仕事に戻れなくなっているのでは?

○最近(今年2月)転職して、現在ヤンセン協和の臨床開発部に籍を置いています。理大(薬)出身者が他に4人もいます。

○全くの医療過疎の私どもの地域にもちらほら処方箋が舞い寄って来ており、医薬分業のほのかな光があたってくるようになりました。

○当薬剤師会も一致団結して受け皿づくりに全力を挙げている次第です。

19期 松本 隆

○平成3年東京大学博士課程を修了して、現在母校薬学部の助手として勤務しています。

○育児(4歳と1歳の男児)奮戦中で、社会復帰は遠い先のことです。

○まったく相変わらず。福島島の田舎で一応、研究所生活を送っています。

○6月5日によく結婚します。

○4月から2年間、米国プリストルマイヤーズスクイブ研究所へ赴任します。

○米国内フロリダのメイヨークリニック研究所で老化の研究をしています。

○4歳の子供と毎日あわただしく過ごしております。友人達も皆子育て真っ最中で、なかなか会うチャンスが作れません。

○子育ても一息つき、これからは薬剤師として社会に

19期 飯田 枢

○育見(4歳と1歳の男児)奮戦中で、社会復帰は遠い先のことです。

○まったく相変わらず。福島島の田舎で一応、研究所生活を送っています。

○6月5日によく結婚します。

○4月から2年間、米国プリストルマイヤーズスクイブ研究所へ赴任します。

○米国内フロリダのメイヨークリニック研究所で老化の研究をしています。

○4歳の子供と毎日あわただしく過ごしております。友人達も皆子育て真っ最中で、なかなか会うチャンスが作れません。

○子育ても一息つき、これからは薬剤師として社会に

20期 植木智一

○山之内製薬安全性研究所で頑張っています。

○石川県の公務員となり、石川県珠洲保健所に勤めております。

○1月10日より一年間、テキサス工科大学へ留学しております。

○21期 松前千代子

○21期 松前千代子

○21期 松前千代子

○21期 松前千代子

○21期 松前千代子

21期 松本小幸

○日本化学薬床開発部で、循環器関連薬の開発を担当しています。

○現在、埼玉みさと健和病院に勤務しています。

○ローヌブルーランローラー研究開発本部茨城研究所勤務。

○只今、本人はジャカルタ駐在の夫と共に生活しております。娘に替りお知らせまで(母)。

○7月から翻訳・通訳のコンサルティングを始めます。お役に立てると思います。

○主婦、子育てに追われています。

○山之内製薬安全性研究所で頑張っています。

○石川県の公務員となり、石川県珠洲保健所に勤めております。

21期 藤原 良

○日本医科大学老人病研究所で研究を続けております。

○医薬分業、地域医療の向上をめざして水戸市内の大手薬局に勤務しています。

○只今、自治医大病院)を生かして、またこれから少しずつ勉強して、夢を実現したいと思っています。いろいろな分野でご活躍の皆様とお会いできることを楽しみにしています。

○昨年8月に大正製薬を退職し、現在京都で求職活動をしています。京都市内の就職を紹介して頂ける方がありましたら、是非ご連絡下さい。製薬会社営業所の管理薬剤師などを希望しています。

○栃木県企業局鬼怒水道事務所に勤務しています。担当は水質分析です。

○昨年4月よりカンボジアにて日本赤十字社の海外事務

○21期 松前千代子

○21期 松前千代子

22期 磯崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

22期 磯崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

23期 小泉裕久

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

○尾崎啓子

ました。23期 糸山奈緒子
○花王に勤務しています。

今の仕事は薬学とはかけはなれており、「薬」の文字を見るときはかたし、かわりのある仕事をしたいたと思ったりします。

23期 桐井まゆみ
○薬学の世界からすっかり離れ、子育てに忙しい毎日を送っています。

23期 小林尚子
○この3月で聖路加国際病院を退院しました。

23期 颯佐かおり
○昨年4月に厚生省薬務局から環境庁水質保全局に出向しました。

23期 増田聡生
○研究所から開発に異動になり、筑波から浦和に引越しし、だいぶ生活がかわりました。

23期 西川寿昭
○製薬会社の研究開発部門に所属して7年が過ぎようとしています。でも薬剤師の資格をこのまま埋もれさせたくないという思いを抱き続けているのも事実です。現在、転職しようかと悩んでいるところです。諸先輩方のご意見などを会報で伺うことができれば……と思っております。

23期 加藤桂子

○H2年に結婚しまして、現在1歳の男児がおります。

23期 永田(鈴木)一代
○旭化成医薬開発センターに勤務しています。平成3年夏に結婚しました。

23期 高島(斉藤)明美
○現在、福井医科大学6年在学中です。

23期 栗原 進
○現在、米国のサンディエゴにおります。あと一年くらいで帰国すると思います。

23期 石田秀子
○子育てしながら学校薬剤師をしております。

23期 松本友紀子
○子育て一色の毎日で、薬学とはすっかりごぶさたしています。23期 大橋ゆかり
○理大を卒業して7年たち、私は脳外科の研修医として忙しい毎日を送っています。

23期 浅野修一郎
○今年2月に結婚しました。

24期 名取(上田) 佳子
○神奈川県衛生研究所に入り、早くも5年が経とうとしています。薬事毒性課という部屋で医薬品等の分析を本業としています。

24期 大森清美
○相変わらず調剤薬局に勤務しています。最近では地元

のテニスチームに入会し、

週末は練習で気持ち良い汗を流しています。

24期 城所啓治郎
○新年早々コウノトリがやって来ました。無事に母親になれることを楽しみに、毎日のんびりと過ごしています。

24期 城所(杉田) 千佳子
○現在は研究業務に関わっておらず、もっぱらデスクワークが主です。

24期 佐藤夫美
○青年海外協力隊員として2年間東アフリカの馬拉ウイ共和国の病院の薬局で活動し、90年12月に帰国しました。

24期 徳田詠子
○ただ今、福祉事務所でケイスイーカーをしております。

24期 馬場昭光
○3月末をもって病院から調剤薬局へ転勤するため、引越などの準備中。

24期 久澤美紀
○今年の7月に2児の母になります。早く子供が大きくなって、また働きたいと家でイライラしている毎日です。薬学総合講義に「保育」があれば……といつも思っています。

24期 町田治子
○東京厚生年金病院で薬剤師をしています。理大卒の

24期 平尾彰英

薬剤師の集いなどがあると嬉しいと思います。

24期 吉原恵子
○就職して一年が経過しつつありますが、元気でやっております。

24期 宮川辰治
○4月より昭和大学勤務になります。24期 長岡寛明
○相変わらず粉にまみれる毎日です。今後ともインジンをよろしく願います。

24期 藤田洋之
○卒業後、病院薬剤師をしておりましたが、今では趣味がそのまま仕事になってしまい、オートバイ、自転車の販売店をしております。

生まれ、毎日充実しております。

24期 小松(山口) 美由紀
○同期の吉原さん、どうしてますか？私は現在、第一製薬鹿兒島出張所ががんばっています。体に気をつけてがんばって下さい。

24期 奥 秀樹
○帝人新薬創製研究所でありかわらず忙しく致しております。24期 東 智英子
○中外製薬で診断薬をやっております。

25期 山下(田中) 京子

○5年1月に結婚しました。

25期 田中(川上) 直子
○一九九一年に結婚し、現在は日産自動車栃木工場に薬剤師をしています。

25期 田崎(安藤) 由紀
○2年前よりニューヨークのロックフェラー大学に留学しております。

25期 羽田明子
○9月からビジネスの勉強をするために米国へ留学します。25期 吉村明子
○S64年に結婚しました。

25期 原田(村山) 玲子
○早いもので入社して丸3年になりました。

25期 朝倉 隆
○社内にも理科大出身の人が増えてきて、心強いです。

25期 木所資典
○3月に出産を控えて苦しい身体で過ごしています。

25期 高部伸子
○三菱化成総合研究所に勤務しています。

25期 田畑礼子
○現在、阪大医、分子生理化学で、ホスホリパーゼA2の研究に従事しています。

○静岡県立大学漢方薬研究所の大学院に進学。92年に卒業して現在、山之内製薬焼津工場品質管理担当に勤務しています。

26期 藍川 勝
○スミスクライン・ピーチャム製薬臨床開発部勤務。現在、福岡、佐賀、鳥取、沖縄をとびまわっています。

26期 若松正克
○味の素中央研究所ファイン研究所に勤務しています。

26期 望月裕美子
○福井県立病院薬剤部でTDMやIVHなどを担当しております。

26期 村田 健
○3月末で退職し、4月から宮崎県に行く予定です。

26期 田口由弥
○卒業と同時にコンピュータの世界に入りましたが、医薬の進歩・発展には敏感でありたいと思っています。いまから薬局へ転職は大変でしょうか。

26期 高田真美
○東京で仕事をしています。

26期 篠田京子
○山之内製薬創薬研究本部第一創薬研究所で新薬の合成をしております。

26期 穴倉淳一
○明治製薬入社2年目にし

て国内留学の機会に恵まれ現在東京目黒にある(財)

微生物化学研究所で研究三味の生活を送っています。

26期 佐藤尊彦

旭化成薬事センター薬事総括グループ勤務。

26期 小池 薫

92年11月に結婚し、現在高島平(板橋区)で薬剤師をしています。

26期 河合(黒坂) 和代

名古屋市内の調剤薬局に勤務しています。

26期 川村勝美

東大病院近くの調剤薬局にてアルバイトをしております。

26期 小倉英子

社会に出ては2年。がむしやらに働いております。

26期 大滝浩之

11月に親になる予定です。うれしさより不安の方が大きいこのごろです。

26期 森田(小倉) 文子

東大応微研の岩崎教授の研究室で博士過程に在学しています。

27期 嶋澤るみ子

東大大学院博士過程1年。

27期 稲垣善茂

山之内製薬国際ライセンズ部に勤務。今年4年目に入ります。27期 白須千恵

ゼリア新薬中央研究所化

学研部にて有機合成をやっております。

27期 林 明伸

第一製薬に入社し、早や4年目を迎えようとしています。

27期 中川知子

しばらく仕事をしています。

27期 糸永恵美

ポーラ化成研究所に勤務してもう3年になります。

27期 山川(及川) 弓香

まだ仕事の要領を完全に覚えきれずに、パタバタとした毎日を過ごしております。

27期 鈴木富子

生産情報管理システムの保守、改善にたずさわっています。

28期 藤野武尚

日本レダリー生物研究所で3年目の春を迎えます。

28期 近江順子

味の素に勤務して2年が過ぎようとしています。

28期 小倉麻子

4月より第一製薬の研究職に就くことになりました。

28期 佐藤俊之

平成6年5月に国立水戸病院前に新しく「薬局エムテック」を開局します。諸先輩のご指導を、よろしく願います。

28期 品川俊徳

4月から山之内製薬に就職します。

28期 谷内由太

日本化薬に勤めています。

28期 田保靖子

現在、エーザイ勤務。

28期 内藤 源

同窓会の幹事でありながら何もお役に立てず、心苦しく思っております。

28期 福田裕子

板橋区の病院で病院薬剤師をしています。

28期 松本泰子

サントリー医薬開発部勤務です。

28期 藤田真美

三菱レイヨンに勤務。

28期 森谷史江

企業での特許関係の仕事から、薬剤師の資格を活かした生活に変えようとしています。

28期 横森(茂呂) 晴美

中外製薬の高田(中央研究所)で診断薬の研究をしております。

29期 彦坂麻由美

中外製薬で多くの同窓生に助けて頂きながら頑張っています。

29期 矢田有美

卒業後、第一製薬で働いております。

29期 長堀歩美

エーザイに入社し、忙しいながらも楽しく仕事をしております。

29期 中条裕子

資生堂の研究職として就職し掛川工場に配属。製薬部品質管理グループで無菌製剤の製剤立ち上げに関与しています。

29期 加藤千温

北大薬学部大学院修士過程一年に在学しており、薬品分子生物学教室で、脂質

29期 赤井一彦

3月に結婚する予定です。新郎は同窓同期の手島 剛

29期 名倉美恵

寄稿 求められる薬学教育の改革

学部制度の再考の時

北里大学薬学部教授(10期生) 中川靖一



大学が教育の改革にゆれている。「受験地獄からの開放区」、専門を水で薄めた軽度な講義」などさまざまな批判のある大学を「高度教育の場」としてもう一度見直そうとする動きが活発である。大学設置基準の

大綱化と呼ばれる改革で、細かい基準で拘束されていた教育のカリキュラムを、各大学が自由に組み替えることができ、特色ある教育システムを独自で作れるようになった。全国の大学で教養部を解体し、4年制一貫した教育、いわゆる「縦割り教育」を行おうとしているのもその一つのあらわれである。

要に迫られることになった。平成8年よりの臨床薬学に關する設問を大幅に盛り込んだ新しい薬剤師国家試験制度の実施である。このことは、医薬品が氾濫している医療の現場において、薬の取り扱いに対して本当に責任を持つことの出来る薬剤師の育成に欠くことのない臨床面での教育が不足していることへの反省から生まれたものであり、厚生省は臨床薬剤師としての資質を問う試験制度の改正に踏み切った。薬剤師の資

薬学部においても同様の「縦割り教育」システムの導入に加えて、薬剤師教育について早急に対応する必

格を得ることを目的として入学してくる学生の多い私立薬科大学にとって、すぐ対応せざるを得ない重大な試験制度の改革である。しかし、医療に携わった経験を持つ薬剤師がきわめて少なく、「どのような教育が必要か」の論議が端緒に終わったばかりであり、基準の定まらない臨床薬学たるものをどのように教育してよいものか、その対応におおわらわである。

はたして薬科大学はこうした変化にほんとうに対応できるのだろうか？ 現在の薬学教育は化学、生物学、物理学の基礎科学教育、これに製剤学、調剤学、衛生化学など薬学固有の専門教科が加わり、きわめて多方面に渡っており、いまの教育科目ですら4年間で均一に教育することは困難となっている。そこに新たに臨床的な教育を加えることは、超過密なカリキュラムとなり、編成することはほとんど絶望的といわざるを得ない。かといって、創薬を指した従来の薬学教育を犠牲にして、薬剤師教育に大きくシフトすれば、有機化学、生化学などの複眼的な

視野をもって創薬できる人材を育成するという薬学部の社会的使命を果たすことはできなくなる。また、薬科大学が臨床薬学教育に必要以上にとらわれ、アカデミズムを軽視することになれば、大学全体の活力が失われることになりかねない。

こうした問題に解決の糸口を与えようとすれば、薬学教育6年の年限を延長し、教育期間を大幅に増やすことであるが、6年制にはさまざまな問題が山積しており、全国46の国公私立の薬科大学で年限延長に賛成している大学はほとんどない。現行のシステムで薬学教育と薬剤師養成教育を両立するためには、それぞれの教育体系を独立させ、コース制で行う以外にないのではないだろうか？ 多くの薬学部は薬学科、製薬学科の二学科制をとっているが、両学科の教育の違いはほとんどなく、名目ばかりであり、形骸化しているのが現状である。やはり本来の学科の理念に立ち帰って、薬学科は高度な薬剤師養成に必要な教育をし、製薬学科には創薬に必要な専門的な教育をすべきであろう。薬

剤師を希望する学生には、将来予測される職能教育のメニューを用意し、創薬の現場での研究者になりたいと考えている学生には、最新の科学の進歩を含めた基礎科学科目を履修できるようにすべきであろう。

科学技術が高度に発達し、各分野に細分化した今日、薬学ですべての関連分野において平均的な教育をすることはもはやできないであろう。今日まで、薬学部は広範な分野に人材を送り出してきたが、その多くは薬剤師の資格を必ずしも必要としない職種である。平成4年度の卒業者の業種別動向分布を見ると、病院、薬局は25%であり、そのほかの学生は企業、大学院進学などであった。「薬学部は薬剤師を養成する教育機関であって、卒業すれば、誰でも薬剤師になれる」との考え方は変えなければならぬ時期に来ているのではないかと思われる。

平成6年3月に同窓会事務局に到着した原稿です
◇ ◇ ◇
同窓会事務局ではこのような投稿・寄稿の原稿を歓迎します。

薬学部だより



鈴木静夫先生御逝去

衛生化学教室教授鈴木静夫先生が平成6年3月15日に永眠されました。謹んで御冥福をお祈りします。

- △略歴▽
- 昭和7年6月22日 兵庫県生れ。
- 昭和30年 東京教育大学理学部生物学科卒業。
- 昭和35年 東京教育大学理学部博士課程修了。理学博士。東京理科大学薬学部助手。
- 昭和38年 東京理科大学薬学部講師。
- 昭和41年 東京理科大学薬学部助教授。
- 昭和49年 東京理科大学薬学部教授。
- 平成6年3月15日 永眠（行年62歳）
- 従五位勲四等瑞宝章。
- 東京理科大学名誉教授。

編集後記

◇同窓会への連絡ハガキから集めた「ひとこと」の特集号です。準備の都合で内容が一部古い（去年）まま

点業務……。薬学と薬剤師をとり巻く環境が大きく変わって行きます。時の流れは断えずして、濁みに浮かぶうたかたのような我が身は、どうすりゃいいんだ。

◇20代の若き卒業生より同窓会に、新しく薬局を開業することになったとて、同じ道を歩く先輩にアドバイスを求める電話あり。隔月の幹事会に出席して頂き、何人かの開局者に大いに励まされて帰路に着く。後日お礼の電話でいわく、同窓会っていいですねえ。そうです。遠慮なく使ってください、50000人の知恵と情報。

◇鈴木静夫先生の訃報に接す。梅沢文輔先生。守屋寛先生。森脇千秋先生。……30年の歴史に残るなつかしい方々。教え子たちはみな頑張っています。どうか天国から暖く見守ってください。

「東京理科大学 薬学部同窓会会報」
平成6年6月25日発行
△非売品▽
編集 東京都新宿区市谷 発行 船河原町12
東京理科大学
薬学部同窓会
印刷・モリモト印刷株式会社

会 計 報 告

東京理科大学薬学部同窓会
1993年4月1日 - 1994年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
内 訳	金 額 (円)	内 訳	金 額 (円)
同窓会費	2,208,000	電話代	37,732
名簿売上金	4,500	人件費	648,100
寄付その他	131,381	事務用品代	24,492
利息	374,943	通信費	963,520
		会議費	17,700
		会誌発行費	143,685
		会費返金	85,092
		その他	41,284
合 計	2,718,824	合 計	1,961,605

前年度繰越金 22,789,463円
今年度残高 757,219円

本年度繰越金 23,546,682円

内訳 定期預金 10,000,000円
 郵便定期 10,333,728円
 銀行預金 773,454円
 郵便貯金 2,439,500円

以上の通り会計報告いたします。

1994年 5 月 2 5 日

会計

和田 浩志



牧野 公子



監 査 報 告

会計報告の各事項を調査し、その収支ともに正確であることを認めます。

1994年 5 月 2 7 日

会計監査

村野 俱子



林 多佳子

